

令和4年度 文学部英文学科 一般選抜（中期日程）講評

英文読解問題と、英語での表現力を見る問題から、構成されている。読解問題は、多様な分野の英文の内容を限られた時間内に的確に理解できるかどうか、英作文の問題では、自分の考えや伝えたい内容を適切な英語で論理的に表現できる力があるかを見る。

I

【出題意図】 2021年度のアカデミー賞最優秀作品賞を受賞した米国の映画『ノマドランド』の原作の一部から出題した。本文で描かれている、車上生活者のプライドや生活の知恵、仲間達との連帯などについて、制限時間内に的確に理解し、設問の意図に沿って適切に日本語でまとめることが出来るかを見ようとした。また、形容詞を選ぶ問題では、前後の文脈を的確に読み、最もふさわしいものを選ばせるものである。英語の読解力や語彙力をつけることは当然のことであるが、世界で起こっている出来事に興味や関心を持って日常的に接しようとする積極的な姿勢や態度も同様に大切である。

【評価のポイント】 【出題意図】の所でも多少触れているが、本文の本質的な理解に不可欠とも言える箇所について、設問の前後のコンテキストを視野に入れながら適切に把握し、それを設問の指示に従って的確にまとめ上げることが出来るかが肝要である。それがきちんとできているかを、設問ごとに細かい基準を設けて評価した。

- 問1 概ねよく出来ていたが、get rid ofの意味を取り違えている答案がいくつか見られた。
- 問2 よく書けている答案が多かったが、restやcardboard boxの意味を取り違えている答案が時々見られた。
- 問3 二つの例をあげることが要求されているが、一つの例しか示せていない答案が多かった。
- 問4 やや難しかったようである。respectableとrespectiveを混同したり、fluentを解答できていないものが多かった。(c)については、よく出来ていた。

II

【出題意図】

2016年12月24/25日に発行されたイギリス紙「フィナンシャル・タイムズ」の記事である。そのテーマは、現在は廃れたと思われる、レコードという音楽媒体のリヴァイヴァル現象である。具体的には、最新の音楽媒体よりもレコードのほうが10代の若者によって

肯定的に受け入れられていること、そしてその事情や理由について書かれている。また、デジタルメディアよりもアナログメディアの方がむしろ好まれている他の産業についても触れられている。これらのテーマについて書かれた英語の読解を通して、内容把握力や語彙力、さらには日英両言語の記述力を測ることがねらいである。また、問2の空欄補充問題は、文脈の把握力を問うている。レコードをはじめとする古い媒体や機器は、もはや古臭いものとして切り捨てるのではなく、音楽の再生機器というありふれた機器の変遷を知ることがきっかけとして文化史への関心をもち、周囲の事物や文化現象を興味深く観察する心構えが大切である。

【評価のポイント】

問1は記述問題、問2は記号選択問題となっており、出題形式こそは異なるが、音楽好きの若者のなかにはデジタルメディアよりもアナログメディアをより好むようになった事情を理解することが正答を導くためには必要であるので、両問題とも筆者の主張を把握する上で必須の内容に触れている。問3は空所へ挿入するに適切な単語を選ぶために、空所前後の文脈を把握する力を問うのがねらいである。問4は、レコード、CD、ストリーミングサービスのうちどれを選択するかを、理由とともに明瞭な英語で記述できる力を見た。

【答案の傾向】

問1 下線部(1)の内容把握問題である。2つの指摘されるべきポイントが、示されているかどうか大切である。10代の若者が親の好みに逆らうという根本的な心理については、正確に記述できている答案が多かった。また、間違いではないが、下線部中の単語“scarcity”を「不足」と、とらえているケースも散見され、これを「希少性」と読み込めるかどうかで理解度にかなり差が生じた。

問2 概ねよくできていた。

問3 概ねよくできていた。

問4 The question is very straightforward: “Which would you prefer when you listen to music, vinyl, CD or streaming service? In English, write your choice with a reason.”

GRADING CRITERIA

Two standardized grading criteria were employed in grading answers to this question:

a. Contents

- The applicants were supposed to clearly write just one preference;
- The applicants were supposed to state a reason for their preference.

b. Conventions

- The applicants were supposed to write the contents in good English grammar;
- The applicants were supposed to write with adequate spelling, punctuation, and capitalization;
- Formatting – the applicants were supposed to write the second sentence immediately after the first and not list their sentences as if they are separate from each other (if they wrote more than one sentence).

GENERAL OBSERVATIONS FROM GRADING THIS SECTION

- About 95% of the applicants understood the question, responded to it adequately and subsequently scored high points. Therefore, the question was clear and appropriate for the applicants' levels of English proficiencies.
- A few applicants did not write anything either due to lack of time or due to their lack of understanding of the question.
- A few applicants did not know that “vinyl” and “CDs” are different music media.
- Several applicants made spelling and pluralization errors. For example, a few applicants pluralized “music” and “equipment” by adding an “s” in front of them. This is wrong.
- A few applicants started with personal pronoun “I” in the first clause and then moved to either first person plural pronoun “we”, or third person singular pronoun “it” in the second clause. This is equally not appropriate for this question.
- Normally, contractions are not allowed in formal writing. Applicants should always endeavor to write every word individually. So, “I’m” = “I am”; “I’d” = “I would”, etc.
- Applicants should always leave some time at the end to edit their writing. This will reduce the number of spelling, punctuation and other errors.

III

【出題意図】 人類の歩行について書かれた文章である。この英文を的確に理解できるかどうかを見る。二足歩行となった人類は、共感能力を備え、利他的な行為ができることで生き延びてきた。この共感能力が、高度に複雑化した現代社会においても、重要であることが本文中から読み取れるかどうかを見る。

【評価のポイント】 本文内容の要点、および詳細を理解し、どれだけ読み込むことができる

か。本文中の、Darwin や、Richard Leakey の説などは、文章を深く、適切に読むことができていないと正答には結びつかず、高得点にはつながらない。正確な速読の力、及び豊かな語彙力が必要とされる。

【答案の傾向】

問1 概ねよくできていた。

問2 答えの中心となるパラグラフが明確であることもあり、たいへんよくできていた。使われている語句の意味をきちんととらえるとともに、基本的な漢字の誤りをしないように注意したい。

問3 途中で記入をあきらめた答案も見られたが、多くは、二足歩行の霊長類の特徴について適切に書かれていた。

IV

【出題意図】 会話文を読み、二人の話者の意図を理解すると同時に発話表現を判断できるかどうかの力を見た。

【評価のポイント】 文脈と会話の相手の意図を理解したうえで、適切な発話を選べるかどうか。

【答案の傾向】

概ねよくできていた。

V

【出題意図】 Three criteria were employed in evaluation.

(1) Appropriate content

(2) Grammatical structure

(3) Appropriate vocabulary. The length of the answer (particularly in case the answer was too short) impacted the scores for each criterion.

【評価のポイント】

Candidates were asked to write about a particular experience that taught them the true value of friendship. Points were deducted for mentioning multiple experiences, generic experiences, or abstract ideas that did not refer to an experience.

【答案の傾向】

Most students offered interesting experiences from their lives. Occasionally, experiences seemed to be fictitious, but no points were deducted for this. As the question asked for a particular example, students were forced to express themselves in concrete terms. As such, this would seem to be a good form of questioning.

A few students did not answer, presumably because they ran out of time. A small number of students received scores of close to maximum, where the content was appropriate (and interesting), where there were no serious errors in grammar, and where vocabulary was used in an appropriate manner.